

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みませぬ。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド株式オープン

第18期（決算日 2022年9月30日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 込		投資信託証券 組入比率	純資産額
		分配金	期中 騰落率		
14期 (2018年10月1日)	円 14,937	円 0	% 0.4	% 96.5	百万円 91,568
15期 (2019年9月30日)	13,836	0	△ 7.4	98.6	81,654
16期 (2020年9月30日)	13,334	0	△ 3.6	98.0	68,759
17期 (2021年9月30日)	20,282	1,000	59.6	98.6	77,293
18期 (2022年9月30日)	22,086	1,000	13.8	97.1	81,723

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	
		投資信託証券 組入比率	騰落率
(期 首) 2021年9月30日	円 20,282	% —	% 98.6
10月末	20,938	3.2	97.5
11月末	19,722	△ 2.8	97.7
12月末	20,212	△ 0.3	98.2
2022年1月末	20,229	△ 0.3	98.3
2月末	19,592	△ 3.4	98.7
3月末	21,600	6.5	98.2
4月末	22,142	9.2	98.1
5月末	21,362	5.3	98.4
6月末	21,448	5.7	98.5
7月末	22,229	9.6	98.4
8月末	23,736	17.0	98.4
(期 末) 2022年9月30日	23,086	13.8	97.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年10月1日～2022年9月30日)



第18期首	20,282円
第18期末	22,086円 (既払分配金1,000円)
騰落率	13.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



・為替市場で円安になったこと。

インド株式市場

インド株式市場は、2021年9月の製造業購買担当者景気指数（PMI）で経済活動の回復が続いていると確認されたことや、7-9月期企業決算への期待などを背景に期初から上昇しました。しかし、利益確定売りの動きに加え、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や新たな変異株オミクロン株の出現による景気失速懸念から下落しました。12月半ばにはオミクロン株の重症化リスクは相対的に低いとの調査結果などが好感され株価は反発しました。その後は米長期金利の上昇や米国の大幅な利上げ懸念、さらにロシアのウクライナ軍事侵攻などを受けてインド株式市場は調整しました。2022年3月には1-3月期のインド主要都市での住宅販売・着工数がコロナ禍以降で最大になったと報じられたことや、同期のインド労働市場でホワイトカラーの求人数が過去2年間で最大となったことなどが好感され株価は反発しました。4月には大手ITサービス会社の市場予想を下回る決算内容や、米長期金利のさらなる上昇を嫌気した米国株の下落のほか、世界経済に大きな影響を与える中国経済の失速懸念や、米国経済のスタグフレーション（物価上昇と景気停滞の併存）懸念、世界経済失速がインドの輸出に与える影響などが懸念され株価は再び下落しま

した。しかし7、8月には堅調なインド企業業績に加えて、原油などコモディティ価格の調整を受けインフレ率のピークアウト期待や、インド準備銀行（RBI、中央銀行）による利上げ幅縮小への期待などから大きく反発しました。9月には米利上げ見通し引き上げから米国株が調整する中、インド株式市場は再び下落し、通期では小幅な下落となりました。

為替市場

インドルピーは、原油価格上昇を背景とした経常収支悪化懸念や米利上げ加速観測を背景に、対米ドルでは下落基調で推移しました。一方で、日米長期金利差拡大などを受け大きく円安米ドル高となったことから、通期でルピー高円安となりました。

国内債券市場

2022年に入ってからエネルギー価格の高騰などを受けて欧米各国でインフレ懸念が高まり、長期金利が大幅に上昇する中、日本国債利回りも上昇（価格は下落）しました。その後は欧米の長期金利が上昇し、日銀の連続指値オペの実施などから日本国債利回りは横ばいで推移しましたが、通期では利回り上昇となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

個別銘柄では、自動車やトラクター販売が好調だったことが好感され上昇した大手自動車メーカーのマヒンドラ・マヒンドラの保有がプラス要因となった一方で、人件費などのコスト増が今後の利益率に対する悲観的な見通しにつながったITサービス大手インフォシスの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第18期	
	2021年10月1日 ～2022年9月30日	
当期分配金	(円)	1,000
（対基準価額比率）	(%)	4.332
当期の収益	(円)	1,000
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	12,528

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・エクイティ・オープン of 組入比率を高位に保つことを基本とします。

インド・エクイティ・オープン

インド経済については強気の長期見通しを維持しています。さらに米中の地政学的な緊張の高まりからインド経済は中期的に恩恵を受ける可能性があると考えています。インドへの直接投資（FDI）は既に増加していますが、米国や日本、その他の国では製造拠点をインドに移す動きがあり、インド政府が速やかにこれを取り込む施策を打ち出すことでさらに加速する可能性があります。海外からの投資がけん引して設備投資が拡大し、インド経済は活性化されると考えます。インドはこれまで他の新興国と比較して、バリュエー

ションから見て割高な水準まで買われることが多かったものの、足元の株価はそれがより際立っているように思われます。内需の国であるインドは世界的な景気変動の影響が相対的に小さいことや、政策や制度改革への政府の取り組みを市場が評価していることが背景にあります。引き続き、ファンダメンタルズが強固で割安な銘柄に着目しながら、選別投資を行う方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2021年10月1日～2022年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	285円	1.350%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、21,124円です。
(投信会社)	(116)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(163)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	285	1.352	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

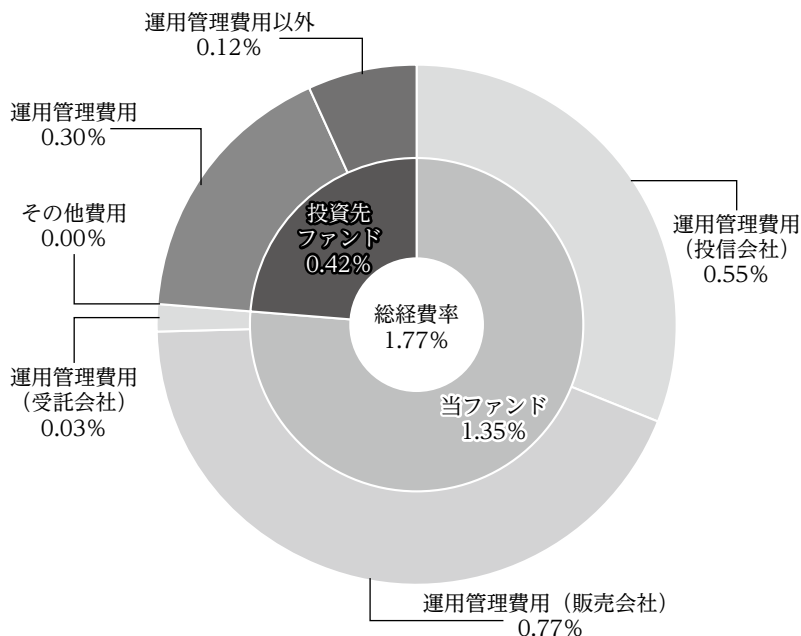
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 (①+②+③)	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2021年10月1日から2022年9月30日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			180	10,000	1,372	73,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2021年10月1日から2022年9月30日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2022年9月30日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	401,177	401,177	427,775	0.5
合 計	401,177	401,177	427,775	0.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	12,304	11,112	544,755	78,885,985	96.5
合 計	12,304	11,112	544,755	78,885,985	96.5

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2022年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 427,775	% 0.5
投 資 証 券	78,885,985	91.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,901,595	8.0
投 資 信 託 財 産 総 額	86,215,355	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(78,885,985千円)の投資信託財産総額(86,215,355千円)に対する比率は91.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年9月30日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.81円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	86,215,355,534円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,901,594,595
投資信託受益証券(評価額)	427,775,420
投 資 証 券(評価額)	78,885,985,519
(B) 負 債	4,492,253,726
未 払 収 益 分 配 金	3,700,162,310
未 払 解 約 金	231,371,206
未 払 信 託 報 酬	559,907,978
未 払 利 息	20,232
そ の 他 未 払 費 用	792,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	81,723,101,808
元 本	37,001,623,109
次 期 繰 越 損 益 金	44,721,478,699
(D) 受 益 権 総 口 数	37,001,623,109口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,086円

(注1) 元本の状況

期首元本額	38,109,546,850円
期中追加設定元本額	5,514,929,367円
期中一部解約元本額	6,622,853,108円

(注2) 1口当たり純資産額は2,2086円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2021年10月1日 至2022年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,784,277円
そ の 他 収 益 金	89,785
支 払 利 息	△ 1,874,062
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,854,850,690
売 買 益	21,008,115,251
売 買 損	△10,153,264,561
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,089,171,370
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	9,763,895,043
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	18,602,037,664
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	20,055,708,302
(配 当 等 相 当 額)	(21,689,081,976)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,633,373,674)
(G) 計 (D+E+F)	48,421,641,009
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,700,162,310
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	44,721,478,699
追 加 信 託 差 損 益 金	20,055,708,302
(配 当 等 相 当 額)	(21,689,081,976)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,633,373,674)
分 配 準 備 積 立 金	24,667,554,674
繰 越 損 益 金	△ 1,784,277

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(9,764,680,116円)、信託約款に規定する収益調整金(21,689,081,976円)および分配準備積立金(18,603,036,868円)より、分配対象収益は50,056,798,960円(10,000口当たり13,528円)であり、うち3,700,162,310円(10,000口当たり1,000円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決 算 期	第 18 期
1 万口当たり分配金（税引前）	1,000円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型		
表示通貨	米ドル		
運用の基本方針	インドの株式を主な投資対象とし、中長期的なトータル・リターンを最大限の獲得を目指した運用を行います。		
主な投資対象	インドの金融商品取引所に上場されている株式		
ベンチマーク	MSCI India Total Return Net Index (MSCIインド指数 (税引き後配当再投資)) ※1		
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited	
手数料等	申込手数料	ありません。	
	運用報酬	(純資産額50万米ドル以下の部分)	年率0.35%
		(純資産額50万米ドル超の部分)	年率0.30%
	管理報酬等	年率0.25% (上限)	
上記には、監査費用、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が含まれます。			
設立日	2004年9月29日		
決算日	毎年8月31日		

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募		
表示通貨	日本円		
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債		
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※2		
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 		
申込手数料	ありません。		
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)		
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。		
信託設定日	2002年8月26日		
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)		

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2021年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2021年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	8,662,653
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	150,367,352
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	194,068,634
その他利益（損失）	65,053
	<hr/>
	353,163,692
	<hr/>

費用

運用報酬	(2,227,080)
保管銀行費用	(409,375)
計算事務費用	(200,284)
管理費用	(164,807)
専門家報酬	(8,476)
監査報酬	(43,841)
税金手数料	(23,902)
取引手数料	(5,200)
銀行手数料	(18,555)
免許登録費用	(5,300)
売買委託手数料	(2,424,606)
外国為替取引に係る純利益（損失）	(59,511)
	<hr/>
	(5,590,937)
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	347,572,755
税金	(37,935,560)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/>
	309,637,195
	<hr/>

投資有価証券明細表

2021年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
株式:				
Aditya Birla Fashion and Retail Limited	4,373,625	11,043,108	12,441,648	1.60%
ACC Limited	251,545	5,752,844	8,297,998	1.07%
Amber Enterprises India Limited	144,605	5,639,145	5,722,439	0.74%
Axis Bank Limited	3,763,215	29,946,357	40,459,644	5.21%
Bharti Airtel Limited	1,454,421	9,760,585	13,202,471	1.70%
Brigade Enterprises Limited	643,162	2,322,939	2,940,464	0.38%
Cartrade Tech Limited	284,732	6,026,418	5,793,612	0.75%
Container Corporation of India Limited	1,534,399	14,242,007	14,253,582	1.83%
Cipla Limited	882,226	7,328,656	11,430,385	1.47%
Coforge Limited (formerly known as NIIT Limited)	172,020	8,673,035	12,248,326	1.58%
CREDITACCESS GRAMEEN LIMITED	774,068	4,537,404	7,429,735	0.96%
Crompton Greaves Consumer Electricals Limited	1,422,576	5,012,264	9,206,910	1.18%
Fortis Healthcare Limited	3,723,004	6,964,254	14,784,408	1.90%
GAIL (India) Limited	8,336,376	17,193,247	16,654,838	2.14%
Gateway Distriparks Limited	200,699	785,018	720,999	0.09%
Gujarat Pipavav Port Limited	4,539,491	8,778,823	6,314,019	0.81%
Gujarat State Petronet Limited	1,945,626	8,032,667	9,326,045	1.20%
HCL Technologies Limited	407,341	5,805,037	6,583,398	0.85%
HDFC Bank Limited	644,486	12,556,379	13,932,194	1.79%
Hero MotoCorp Limited	208,490	9,641,531	7,814,356	1.01%
Hindustan Unilever Limited	235,994	6,740,826	8,787,965	1.13%
Hindustan Zinc Limited	1,239,065	4,110,011	5,449,755	0.70%
Housing Development Finance Corporation Limited	1,448,237	25,376,748	55,402,485	7.13%
ICICI Bank Limited	6,188,342	29,101,769	60,827,182	7.83%
ICICI Lombard General Insurance Company Limited	478,103	7,957,021	10,421,675	1.34%
Infosys Limited	2,619,221	19,543,325	61,098,424	7.86%
INOX Leisure Limited	482,094	2,041,953	2,038,007	0.26%
Larsen & Toubro Limited	1,616,756	23,894,261	36,957,024	4.76%
Mahanagar Gas Limited	243,623	2,211,769	3,818,682	0.49%
Mahindra & Mahindra Limited	1,832,537	19,487,501	19,872,591	2.56%
Marico Limited	1,907,006	7,729,321	14,193,005	1.83%
Max Financial Services Limited	273,412	1,409,766	4,066,967	0.52%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
MphasiS Limited	325,799	3,246,033	12,907,062	1.66%
Motherson Sumi Systems Limited	2,300,762	7,681,707	6,875,213	0.88%
The Phoenix Mills Limited	337,984	3,839,100	3,986,074	0.51%
PVR Limited	337,261	5,421,674	6,122,265	0.79%
Quess Corp Limited	875,703	9,355,797	10,137,424	1.30%
The Ramco Cements Limited	904,338	10,162,677	12,470,968	1.61%
Reliance Industries Limited	2,555,318	38,104,615	78,879,117	10.15%
State Bank of India	3,545,952	20,579,659	20,651,791	2.66%
Sona BLW Precision Forgings Limited	1,979,056	7,875,571	13,529,422	1.74%
Sun Pharmaceutical Industries Limited	2,165,228	17,021,994	23,502,593	3.02%
Tata Consultancy Services Limited	633,142	12,481,507	32,771,600	4.22%
TATA CONSUMER PRODUCTS LIMITED	923,087	4,169,554	10,914,352	1.40%
Tata Motors Limited	1,114,789	5,042,159	4,378,170	0.56%
Tata Motors Limited - DVR	5,544,866	15,374,328	10,350,160	1.33%
TATA Steel Limited	1,277,843	6,798,725	25,332,886	3.26%
		496,801,089	775,300,330	99.76%
その他資産			1,689,612	0.22%
純資産			776,989,942	99.98%

「イーストスプリング・インド株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/2/26 ～2022/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,763円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2022年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2
合 計	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第321回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第351回 利付国債（10年）	1.0	50,000	50,029	2022/03/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,141	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,123	2029/03/20
	第60回 利付国債（20年）	0.1	90,000	89,814	2030/06/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,357	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	51,212	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	46,780	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,283	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	40,625	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	59,869	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	149,018	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	31,881	2030/03/20	
合 計			649,500	680,138	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。